



DVR-4161直接配線コード

DVR-DC3M-01

取扱説明書

ご購入いただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。

本製品の特徴

- ◆DVR-4161 の駐車モードを利用する場合は、直接配線コードを接続してください。
- ◆直接配線コードより電源供給するため、付属のシガーライターコードを接続する必要はありません。
- ◆バッテリー上がり防止のため車両バッテリーの電圧を監視し、電源供給を停止します。
- ◆スイッチにより、12V/24V の検出電圧をそれぞれ 4 モード設定できます。

仕様

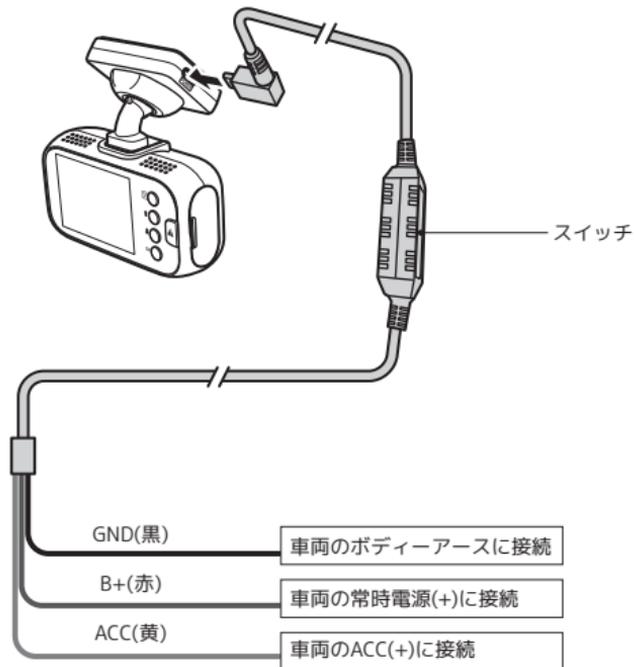
入力電圧	DC12V/24V
出力電圧	DC12V/24V(入力に準ずる)
検出電圧設定値	12V 車 : 11.8V/12.0V/12.2V/12.4V 24V 車 : 23.6V/24.0V/24.4V/24.8V

安全上のご注意

- ◆本製品は、DVR-4161 専用直接配線コードです。それ以外の製品には使用できません。
- ◆駐車モードのご利用による車両のバッテリー上がりに関して、当社は一切の責任を負いません。
- ◆本書の内容に従って、正しく取付や配線をしてください。故障や火災の原因となりますので、お買い上げの販売店へご依頼ください。
- ◆車両メーカーが指定する禁止エリアに、取付や配線をしないでください。本機の動作を妨げる恐れがあり、交通事故の原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。
- ◆取付に車両の保安部品（ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット等）を使用しないでください。制御不能や発火、交通事故などの原因となります。
- ◆必ず付属品や指定の部品を使用してください。機器の故障や事故、火災の恐れがあります。
- ◆板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線してください。断線やショートによる火災や感電、故障の恐れがあります。
- ◆分解や改造をしないでください。コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対にお止めください。感電や故障、交通事故や火災の原因となります。
- ◆直接配線コードの破損は、断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。
 - 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具に近づける、車両の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
 - 車体やねじ、可動部（シートレールなど）へはさみ込まないように引き回してください。
 - ドライバーの先などで押し込まないでください。

接続図

- ◆ドライブレコーダー本体の取扱説明書も併せてご確認ください。
- ◆スイッチで電圧を設定し、直接配線コードを接続してください。



- ◆車両のエンジンを ON にし、本体が起動することを確認してください。
- ◆駐車モードを設定してください。設定方法は本体の取扱説明書を確認してください。

映像の録画について

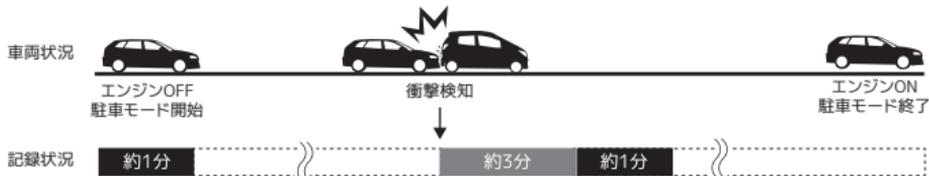
- ◆車両の電源 (ACC) がオフになると、駐車モードに切り替わります。
- ◆駐車モード設定でオフを選択した場合は、シガーライターコード接続時と同様に、ACC がオンになると自動的に録画を開始し、ACC がオフになると自動的に録画を終了します。
- ◆ノーマルモードは ACC オフ後、設定した秒数でタイムラプス録画します。
- ◆ノーマルモードの録画ファイルは Movie フォルダに保存されます。
- ◆インテリジェントモードは ACC オフ後 1 分間録画し、その後は動きや衝撃を検知すると録画します。

インテリジェントモードに設定し動きを検知した場合



- ◆動きを検知した直後から、ループ録画の設定に関係なく 1 分間録画します。
- ◆録画中に新たに動きを検知した場合は、そこから更に 1 分間録画します。
- ◆ACC オフ後の全ての録画ファイルは Movie フォルダに保存されます。

インテリジェントモードに設定し衝撃を検知した場合



※ループ録画を初期値の3分に設定した場合

- ◆衝撃を検知した直後から、ループ録画で設定した時間分と追加で 1 分録画します。
- ◆衝撃検知後の録画ファイルは EMR フォルダに、その他の録画ファイルは Movie フォルダに保存されます。